

依頼後に、 受け取れるもの。

Netsujo 成果物・検証証拠サンプル集

AI研修・Netsujo SIGNAL・AIエージェント評価の3領域で、依頼前に判断できる成果物の形をまとめた資料。

公開記録と説明用サンプルを明確に区分。

[発注者の比較材料](#)[確認できる実績](#)[納品物の形](#)[相談準備](#)

使う人が、判断を進められる資料へ。

2026年10月版 / 顧客向け実務資料

出典・仮定・空欄は区別して記載しています。

01 / 資料の読み方

成果物を、公開証拠とセットで確認。

実際に確認された事実、説明用サンプル、相談後に合意する範囲を別々に示します。

確認された事実

サービスページの公開記載、公式技術リポジトリ、公開実測の範囲を出典付きで記載。

説明用サンプル

完成時の帳票例と入力項目。架空データは「架空」と明記。

個別契約で確定

納品範囲、費用、期間、秘密保持、評価、支援範囲など。

比較する3つの問い

1. 自社のどの問題に、提供物が対応するか。
2. 何を見れば、成果を受け取れたと判断できるか。
3. 社内・制作会社・Netsujoが、それぞれ何を担当するか。

掲載する数値は観測範囲を示すもので、特定施策の単独効果や顧客一般への再現性を保証するものではありません。

SIGNAL：改善仕様と、公開後の検証。

公開サイトの問題を、誰がどの範囲を実装するかまで決められる成果物へ落としします。

実際の公開記録

対象	公式ページで公開された固定28日比較
netsujo.jp	GSC表示 1,514→36,996、クリック 70→428 2026-03-01～03-28 対 2026-09-15～10-12
miyakodeit.com	GSC表示 235→10,344、クリック 23→263 2025-12-07～2026-01-03 対 2026-09-15～10-12

上記はサイト全体の固定期間比較。記事追加や公開環境などの複数要因を含む観測結果です。SIGNAL単独の改善効果を実証する記録として扱いません。

顧客が受け取れるものの例

改善仕様（架空の見本）

対象：/services/example ／ 確認事実：対応範囲が掲載されていない ／ 改善：承認済み対象条件とFAQを追加 ／ 完了：本番HTMLに正しく表示、相談リンクが機能 ／ 検証：公開後の相談適合性を観測

公式情報：<https://netsujo.jp/services/signal>。顧客の実際の納品物や売上実績を示す架空例ではありません。

03 / AI研修

AI研修：業務で使える手順と、評価表。

研修の対象に合わせて、業務題材を演習し、受講後に再利用できる成果物を持ち帰ります。

公式サービス原稿に掲載された法人研修実績

実施済み：2チーム・12コマ。実施予定：2026年11～12月、3チーム・12コマ。企業名は非公開。予定を実施済みに加算していません。

持ち帰る成果物（公開ページの提供例）

形式	受け取れるものの例
業務活用	依頼テンプレート、入力～確認手順、誤り・機密情報チェック表
開発活用	AI開発の進行手順、検証・レビュー項目、プロジェクトの指示改善案
推進担当	候補業務の着手順、利用ルールたたき台、担当者と確認時期を決めた導入計画

受入の確認例（説明用）

受講者がサンプルデータで月次報告を作り、根拠・数値・機密情報の確認手順を再現できる。合格の判断は事前に合意した評価表で行う。

公式情報：<https://netsujo.jp/services/ai-training>。公開サービス原稿の実績・提供例を参照。説明用の演習は实在顧客の成果ではありません。

ARC：役割・権限・検収の根拠を揃える。

AIエージェントを組織の業務へ接続する際の責任分担と、実行前の検査を支援します。

確認できる公開技術資産

Agent Role Contracts（ARC）は、AIエージェントの役割、権限、タスクの範囲、レビュー分離、引継ぎなどを、実行前にオフラインで検査するOSSとして公開されています。

検討時の項目	提供できる評価の形
役割と権限	誰が何を実行できるかの宣言、例外・禁止範囲
レビュー分離	独立した確認者と受入の証拠の整理
失敗と復旧	停止理由、現時点のブロッカー、再開条件
本番導入判断	検証済み対象と実環境固有の未確認事項の分離

能力の境界

ARCのオフライン検査と、実行環境の権限設定・本番監査・外部APIの結果確認は別々に検証します。導入後の品質保証範囲は個別の合意で確定します。

公式技術資料：<https://github.com/suirindo/agent-role-contracts>。資料記載はOSSの用途と評価設計の例です。受注・本番導入実績を示すものではありません。

自社の判断に合う相談先へ。

対象業務と納品希望を具体化すると、初回の要件確認が進みます。

相談内容	最初に共有すること	窓口
AI研修	対象部門、人数、学習目標、利用環境、希望時期	研修の相談
SIGNAL	重要商材、サイトURL、現在止まっている改善、実装体制	SIGNALの相談
ARC・AI導入評価	対象業務、操作権限、受入条件、実行時の安全要件	技術相談

相談で確認する範囲

依頼目的、希望する成果物、導入環境、検収方法、情報管理、責任分担、費用と日程を確認し、個別の提案・契約へ進めます。

Netsujo株式会社

技術と業務をつなぐ課題整理・実装・評価の相談窓口

<https://netsujo.jp/consult>

参照：公式資料一覧 <https://netsujo.jp/downloads> ／ SIGNAL <https://netsujo.jp/services/signal> ／ ARC <https://github.com/suirindo/agent-role-contracts>。2026-10-19参照。実績・提案例・サービス条件はそれぞれ記載した根拠範囲で扱ってください。